



都市医師会 だより

第3回釧路市医師会女性医師の会 講演会を開催して

釧路市医師会 女性医師の会副会長 足立 柳 理

秋晴れのすがすがしい9月26日金曜日、釧路全日空ホテルにおいて第3回の釧路市医師会女性医師の会の講演会が開催されました。

第1回は北海道医師会常任理事の藤井美穂先生をお迎えして「働く女性医師の過去、現在、未来」、また第2回は千葉県立東金病院副院長で性差医療の第一人者でいらっしゃいます天野恵子先生をお迎えして「性差医療」について講演していただきました。

今回は聖マリアンナ医科大学名誉教授の溝口昌子先生をお迎えして「女性医師をとりまく問題と対策」という演題で講演していただきました。先生は私達女性医師が医局の戦力として考えられていなかった時代から、医師として、妻として、母として、仕事を続けていらした方です。講演では女性医師の現状を統計的に示され、女性医師の増加傾向と就業率の変化、各年代の男性医師との比較、ライフスタイルや子育てに関する社会情勢の変化を話されました。また、労働環境の整備とともに、女性医師の長所を生かし、モチベーションを維持しつつ、正しい女性医師の生き方を模索し仕事を続ける必要性を説かれました。正しい生き方に統一性はなく、価値観によりさまざまな生き方があり、女性医師の働きやすい環境が男性医師においても働きやすい環境であること、また、成功例として大阪厚生年金病院の事例も紹介していただきました。

今回はゲストも多く、前日本赤十字社医療センターの紫芝敬子先生と北海道女性医師の会会長の守内順子先生のお二人が遠路参加してくださいました。

講演終了後、紫芝先生が先輩としてご自身のご経験を話されましたが、それは感銘深いお話でした。守内先生からは、北海道女性医師の会の現状や、女子学生や研修医に対しての会としての取り組みの現状、会長としての抱負なども伺うことができました。

その後、会員の親睦を図るために皆さんご一緒に懇親会を行い、時間を忘れて楽しい一夜を過ごすことができました。

毎年、勤務医の先生は転勤があり、釧路管内には現在約30名の女性医師がおりますが、子育て中のかた、病気療養中のかた、勤務が忙しいこともあり、全員が加入しているわけではありませんが、少しでもサポートできればと思っています。

上川郡中央医師会学術講演会

上川郡中央医師会 北海道医報通信員 水野 清 司

上川郡中央医師会は、会員の生涯教育研修事業の一環として学術講演会を開催した。

日時 平成20年10月11日（土）

場所 旭川グランドホテル

主催 上川郡中央医師会

後援 第一三共株式会社

演題 糖尿病治療の現状と対策

講師 旭川赤十字病院 内分泌代謝科部長

森川 秋月先生

当日は多数の会員の参加があり、藤原学術担当理事が座長で講演会が始められた。

わが国の糖尿病患者数は生活習慣と社会環境の変化に伴って日常診療で遭遇する頻度の高い疾患である。糖尿病が疑われる患者の初診時の対応、専門医に紹介するタイミングなどや一般臨床医の病診連携の充実により糖尿病診療についての信頼関係を深めてゆくことが望まれる。

糖尿病の病態別治療の今後の方向性として、旭川医大内科学講座病態代謝内科分野が中心となり研究されてきた、日本人の2型糖尿病患者の心血管イベントの新規発症抑制に有効な治療目標値の検討（Asahikawa Study）についての現状と対策について詳細な説明があり、当医師会としても全面的に協力してゆくことになった。

最近の糖尿病の知識や情報を分りやすく講演され

